※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3005

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	論理国語 a	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「新編 論理国語」（大修館）						
副教材等	「新編 論理国語 学習ノート」（大修館）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「論理国語」では、「現代の国語」及び「言語文化」での学びを踏まえながら、主として思考力・判断力・表現力等」の創造的・論理的思考の側面の力を育成する科目として、社会において必要となる、論理的に書いたり批判的に読んだりする資質・能力を身に付けることを目標とする科目です。
・授業では、論理的な文章や実用的な文章を書いたり読んだりする活動や課題を自ら設定して探求する活動を行います。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
(2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・社会で生きていく上で必要となる、論理的に書いたり批判的に読んだりするための国語の知識や技能を身に付けている。	・論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期	論理と出会う ［教材］ 「知の登山、知の水路」 「『論理的な人』とはどういう人か」 「【フォーカス】『論理』への第一歩」	a：効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。 b[読]：内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。 c：筆者の考えを読み取ることに興味をもち、自分の思いや考えを広げたり深めたりしようとしている。	ワークシート 学習ノート 定期考査 小テスト	ワークシート 学習ノート 定期考査	ワークシート 学習ノート 振り返りシート 行動観察
	具体と抽象 ［教材］ 「【ウォームアップ】具体と抽象の関係」 「【例題】突然変異と進化の関係」 「ウサギの耳はなぜ長い？」 「記号的メディアと物理的メディア」 「【フォーカス】具体と抽象を使いこなそう」	a：言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 情報を抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めている。 b[読]：内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。 c：積極的に学習に取り組み、具体と抽象の関係について理解を深めようとしている。	ワークシート 学習ノート 定期考査 小テスト	ワークシート 学習ノート 定期考査	ワークシート 学習ノート 振り返りシート 行動観察
	対比をとらえる ［教材］ 「【ウォームアップ】比べて説明する」 「【例題】米の種類と食文化」 「対話の精神」 「デジタル地図から見える世界」 「【フォーカス】対比を使って主張する」	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：文章と資料との関係を把握し、内容や構成を的確にとらえている。 c：積極的に学習課題に取り組み、対比の関係とその効果をとらえようとしている。	ワークシート 学習ノート 定期考査 小テスト	ワークシート 学習ノート 定期考査	ワークシート 学習ノート 振り返りシート 行動観察
	主張をつかむ ［教材］ 「【ウォームアップ】主張と根拠を考える」 「【例題】文化としての科学」 「人工の自然―科学技術時代の今を生きるために」 「『考える葦』であり続ける」 「【フォーカス】要約の方法」	a：主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 b[読]：内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。 c：主張と根拠の関係を的確にとらえながら、筆者の考えを読み取ろうとしている。	ワークシート 学習ノート 定期考査 小テスト	ワークシート 学習ノート 定期考査	ワークシート 学習ノート 振り返りシート 行動観察
	論理的に書く　―小論文① ［教材］ 「根拠をふまえて主張を書こう」 「構成を考えて書こう」 「反論を想定して書こう」 「文章を磨き上げよう」	a：小論文における、文や文章の効果的な組み立て方や接続のしかたについて理解を深めている。 b[書]：立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して根拠を考え、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫し、説得力のある文章を書いている。 文章を推敲して、個々の文の表現のしかたや段落の構造を吟味するなど、文章全体	ワークシート 学習ノート 定期考査 小テスト	ワークシート 学習ノート 定期考査	ワークシート 学習ノート 振り返りシート 行動観察

※令和４年度以降入学生用

		の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。 c：小論文を書くことに興味をもち、適切な根拠を示しながら、自分の主張を展開しようとしている。			
	統計資料を活用する ［教材］ 「【ウォームアップ】文章と資料を関連づけて読む」 「量の時代から質の時代へ」 「若者の『海外旅行離れ』は本当か？」 「【フォーカス】統計資料を活用しよう」	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：文章と資料との関係を把握し、内容や構成を的確にとらえている。 c：積極的に学習に取り組み、文章と資料の関係について理解を深めようとしている。	ワークシート 学習ノート 定期考査 小テスト	ワークシート 学習ノート 定期考査	ワークシート 学習ノート 振り返りシート 行動観察
	比べて読む ［教材］ 「【ウォームアップ】情報を比較・整理する」 「【例題】『言葉の揺れ』を認めるか」 「紙の本はなくならない」 「情報化と紙の本のゆくえ」 「【フォーカス】比べて読もう」	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：複数の情報を比較・整理しながら検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味している。 c：情報を的確に比較・整理しながら、筆者の考えを読み取ろうとしている。	ワークシート 学習ノート 定期考査 小テスト	ワークシート 学習ノート 定期考査	ワークシート 学習ノート 振り返りシート 行動観察
	レポートを書く ［教材］ 「テーマを決め、問いを立てよう」 「情報を収集しよう」 「情報を整理しよう」 「レポートをまとめよう」	a：小論文における、文や文章の効果的な組み立て方や接続のしかたについて理解を深めている。 b[書]：レポートを書くための具体的なテーマを決め、適切な問いを立てている。 多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にし、構成を考えながら書いている。 c：レポートを書くことに興味をもち、意欲的に情報収集しようとしている。	ワークシート 学習ノート 定期考査 小テスト	ワークシート 学習ノート 定期考査	ワークシート 学習ノート 振り返りシート 行動観察

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　26　）時間

・読むこと　…　（　44　）時間